



地域とつながるFFG連携プロジェクト

FFGの幅広いネットワークを活かした地方創生の具体的な事例をご紹介します。

宗像市 日の里団地再生の取組み

私たちFFGは、「地域と共に未来を創っていくこと」をスローガンに、観光・農業・雇用・産業・健康・教育など様々な分野での地方創生に取り組んでいます。今回は、自治体や民間事業者、小中学校と連携した取組みをご紹介します。

宗像市に九州最大級の住宅団地として誕生した日の里は、開発から50年が経過し、施設の老朽化や人口減少が大きな課題となっています。

そこで、宗像市は2020年3月に民間企業等12者と日の里地区まちづくりに関する連携協定を締結。既存棟を活用した地域コミュニティ拠点の整備や緑豊かな居住空間を組み合わせた「宗像・日の里モデル」の構築を目指しています。FFGおよび福岡銀行は、宗像市と地域活性化に向けた連携と協力に関する協定を締結しており、西部ガス株式会社、東邦レオ株式会社と協業して、日の里団地再生に向けた取組みに参加しています。

日の里団地 [取組み前]



ハウスメーカー等



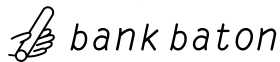
- さとづくりに向けた取組み
- 団地の賑わい創出支援



- プラットフォーム提供による取組み推進
- プロモーション企画

日の里団地 [現在]





その取組みのひとつとして、2021年5月から6月にかけて、FFGのiBankマーケティングが運営する「エンニチFUNDING」にて団地再生の取組み支援を目的としたクラウドファンディングを実施しました。団地をリノベーションしたブリュワリー（ビールの醸造所）を設置、そこで醸造した地場産クラフトビールや中核施設の利用権等を販売しました。

本クラウドファンディングは産学官連携の取組み「大人大本気会議」から生まれた企画であり、約260万円（6月20日時点）の支援を集め、目標金額を達成しました。販売代金は地域の子どもたちのアイデアである巨大クライミングウォールを建設する費用等に充てられます。

今後も、FFGのプラットフォーム提供やプロモーション支援による本プロジェクトの推進はもとより、地域産品の販路拡大、エリアマネジメント支援による地方創生の取組みを進めてまいります。

団地で醸造したクラフトビールを飲んで応援！ 日の里団地の壁にクライミングウォールをつくろう！

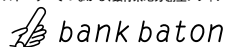
団地をリノベーションした醸造所で作る地場産クラフトビール「さとのビール」や中核施設「ひのさと48」の利用権等を「エンニチFUNDING」にて販売。産学官連携の取組み大人大本気会議（※）」の一環。



（※）「大人大本気会議」とはさとづくり48のプロジェクトメンバーを中心に、特定非営利活動法人まちづくり宗像や地域住民等が参画。まちづくりに子どもたちの提案を積極的に取り入れ、まちの中で実現していくための会議。



福岡銀行 地域共創部
（左から）吉岡、黒田
【お問い合わせ】TEL：(092) 723-2254



【SDGsとは】

2015年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択された国際目標です。2030年までに「誰ひとり取り残さない」社会を実現することを目指しており、下記の17の目標（ゴール）と、更に細分化された169のターゲットから構成されています。

